

将来の見通しが立たない事業から撤退し、新たに新事業を立ち上げる

NSW株式会社
〈idsumi(イズミ)ピクルス〉

製造業

企業情報

- 代表取締役：西出 喜代彦
- 本社住所：大阪府泉佐野市鶴原1291-1
- 創業年：1935(昭和10)年
- 設立年：1952(昭和27)年
- 資本金：2,500万円
- 従業員数：22名
- 業種：製造業、加工食品



idsumi(イズミ)ピクルス
〈水なすピクルス和風mix〉

ワイヤーロープ製造から加工食品製造へ舵を切る

現代表の西出喜代彦氏は、2012(平成24)年に東京の求人広告の「バイトルドットコム」などを手掛けるディップ株式会社を退職し、家業であるワイヤーロープ製造業の日本スチールワイヤーロープ株式会社(当時)に入社した。

その数年前、泉佐野市周辺の大手ワイヤーロープ製造業が海外に拠点を移し、伸線および撚線ともに大幅に受注が減少した。将来的にも業況が改善すると考えにくいことから、何らかの新事業を始める必要性に迫られ、先代社長の父・一彦氏が息子の喜代彦氏を呼び戻した。

専務取締役に就任した喜代彦氏は、東京に暮らしていたときに感じた「都会では、ここ大阪・泉佐野の自然や環境などの良さを感じにくい。やはり、地元

の資源や特色を生かした事業」に取り組みたいと考え、泉佐野市の水なすや玉ねぎなどの地元野菜を活用し、日本では、まだなじみの少ないピクルスを和風の味付けで商品化するプランを練り上げることにした。

大阪府の2012(平成24)年度「おおさか地域創造ファンド」として採択され、複数年での助成金を活用することで、ピクルス製造の器具や加工場、試作品などの費用を調達し、ゼロからの事業が始まった。2013(平成25)年に代表取締役に就任し、創業補助金を活用することがきっかけで、先代社長からの事業承継が始まった。その後、「NSW」に社名変更し、本格的に食品加工業にシフトした。この頃、ワイヤーロープ製造部門は、先代社長夫婦と再雇用の従業員2名が関わるような事業規模に縮小しており、2016(平成28)年の父の死去に伴い、再雇用の方々が円満に退職し、完全に業態を変えることとなった。

父からは、「やりたいようにやれ」と、暖かく見守ってもらっていたが、「亡くなるまでにもっと商売について、学びたかった」と喜代彦氏は振り返る。

鮮やかな野菜の色を保つ商品にするために

現在、大阪府内で直営店を2店舗出店し、常時30種を越えるピクルスを販売している。実店舗を構えることで、消費者から商品の評価を直接聞くことができるようになり、商品開発のアイデアにつ



彩りで詰め合わせる

なげている。こうした熱心な取組により、他社よりも価格面、品質面では優位な商品ラインナップを有することを消費者から高く評価してもらえるようになった。食品加工業が軌道に乗り、事業転換を図れた現段階において、事業承継に関する手続等に関しては、一通り終了している。



FOODEX JAPANなど展示会には今後も年に2回程度出店し、競合の動向把握、新たな製品アイデアなど情報収集することで新たなアイデアづくりに結び付けていく。

泉州の野菜を素材に、今後もさらに消費者が喜ぶ商品作りを目指していき、ピクルスをはじめ、ハーブmixやドレッシングなども開発して「泉州にidsumi(イズミ)ピクルスあり」と言われるような食品加工会社に育てていきたい。



事例の着眼点

- 法人格をうまく使えば一から法人設立する場合と比べて資金が少なく済む場合がある、また設立の手間が省け事業に集中できる
- 事業設立に関するノウハウがない場合、専門家へ素早くアクセスし、協力依頼することが重要である



事例企業が活用できる施策

- 商工会・商工会議所等の経営指導員や事業承継相談デスクへの相談
- 大阪府事業承継ネットワークの承継コーディネーターやブロックコーディネーターへの相談や専門家派遣事業の活用
- 福利厚生や税制優遇のメリットがあり、小規模事業の経営者や役員などの退職金となる「小規模企業共済制度(中小機構)」への加入
- 創業補助金の活用